

■環境保全活動報告

■SDGsへの取り組み状況報告

〈沿革〉

- ・1961年 一般廃棄物収集運搬・し尿の収集運搬、浄化槽の清掃及び維持管理業を行う「勝田環境衛生事業」として創業
- ・1993年 公益社団法人全国産業廃棄物連合会から産業廃棄物処理業者として「優良事業所表彰」を受賞
- ・1997年 一般・産業廃棄物の複合処理施設「(株)カツタ」設立
- ・2002年 「ISO14001」を認証取得
- ・2003年 木質バイオマス発電施設「(株)バイオパワー勝田」設立
- ・2005年 バイオパワー勝田によるバイオマス発電事業を開始
- ・2008年 バイオディーゼル精製設備を設置し、ひたちなか市と連携して廃食用油の回収を開始
- ・2009年 安全性優良事業所「Gマーク」認定
- ・2015年 茨城県優良産業廃棄物処理業者認定(収集運搬・処分)
- ・2020年 一般社団法人日本災害対応システムズに入会
- ・2022年 SDGs宣言
- ・2023年 健康経営優良法人認定(日本健康会議)
- ・2024年 健康経営優良法人認定(日本健康会議)



SDGs宣言

勝田環境グループ
2022年6月17日

当社は、経営理念である「人と自然への思いやりを大切にし、あらゆるニーズにお応えできるサービスを提供し、社会の発展に役立つ企業を目指します」に取り組むことで、地域の様々な課題の解決を目指しています。当社の事業を通じたSDGsの達成に向け、下記の取り組みを実施していくことを宣言します。

<h3>環境保全への取り組み</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の3Rの推進を図り、グループ全体として循環型社会の構築に貢献する。 ・水処理施設、汚泥処理施設を建設し、汚水の削減を行う。 	<h3>地域との密な連携・貢献</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物を積極的に受け入れ、災害復旧支援に貢献する。 ・地域清掃ボランティア、地域イベントへの参加、献血活動を継続する。 ・施設見学を積極的に受け入れる。 
<h3>CO₂削減への取り組み</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス発電、バイナリー発電による、カーボンニュートラルに貢献する ・廃棄物・有価物のリサイクル、廃プラスチックの燃料化、及び再資源化を強化する。 	<h3>働きやすい職場環境づくり</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・健康経営優良法人認定を取得する。 ・評価制度の積極的な推進により、継続的な社員教育を実施する。 ・高齢者や障害者を積極的に雇用する。 

環境保全の取り組み

■ 廃棄物・有価物のリサイクル



3Rの推進

市町村や事業所から出た廃棄物を選別加工して再資源化し、環境保全へ貢献しています。



〈主な選別品〉

アルミ缶プレス



スチール缶プレス



ペットボトルプレス

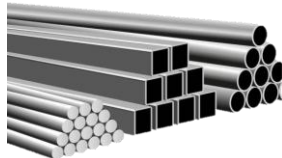


これらの製品に生まれ変わります！

アルミ缶



鋼材

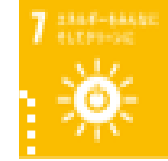


ペットボトル



CO₂削減への取り組み

■ BDF燃料の製造



B: バイオ(生物由来の)
D: ディーゼル(ディーゼル)
F: フューエル(燃料)



ひたちなか市と連携し、各家庭、市内の保育園や幼稚園、小中学校の給食、病院や飲食店などから出た廃食用油を原料として、グループ内精製プラントにて、エコ燃料BDFを製造しています。製造したBDF燃料は工場内の重機に使用したり、グループ会社のゴルフ場の送迎用のバスの燃料としても使用しています。



廃食用油を化学反応をさせてBDF(バイオディーゼル燃料)を製造しています。



天ぷら油の匂いがするよ！
見かけたら体感してみてくださいね！

CO₂削減への取り組み

■ バイオマス発電



グループ会社である㈱バイオパワー勝田ではバイオマス発電を行っています。
 勝田環境でお客様に搬入頂いた木くずや畳を細かく刻み、バイオパワー勝田の発電用燃料を製造しています。
 勝田環境グループは循環型社会へ貢献しています！



木材や畳を破碎して作ったバイオ燃料



バイオパワー勝田へ搬入

■ 廃プラスチックの燃料化



㈱カッタではマテリアルリサイクルが困難な古紙及び廃プラスチック類を主原料としたRPFという固形燃料を製造しています。



㈱カッタで製造されたRPFは製紙会社等で燃料として使われているよ

RPFとは
紙とプラスチック由来の燃料

マテリアルリサイクルとは
廃棄物を新たな製品の原料として再利用するリサイクル方法。

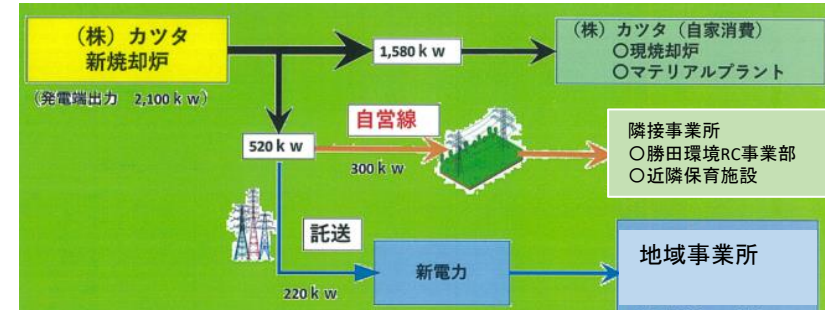
■ バイナリー発電



バイナリー発電とは
 加燃源により沸点の低い媒体(代替フロン)を加燃・蒸発することで得た蒸気でタービンを回して発電する方法です。
 現在㈱カッタでは焼却2号炉を建設中です。完成後は地域の事業所等に電気を供給する予定です。



2026年3月完成予定の㈱カッタ新焼却施設では、廃棄物発電を行い更なるCO₂削減へ取り組んでいきます！



働きやすい職場環境づくり

■健康経営優良法人認定取得



令和5年、6年の2年連続で「日本健康会議」より健康経営優良法人の認定を受けました。地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取組のもと、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業の法人を顕彰する制度です。

〈弊社で取り組んでいる内容〉

- ・健康管理に関する法令遵守
- ・ストレスチェックの実施
- ・禁煙率を下げる取組み
- ・健康診断受診率100%
- ・健康づくり担当者の設置
- ・感染症予防対策
- ・超過勤務時間の抑制(残業の見える化)
- ・運動機会の増進
- ・ノー残業デーの設定

■高齢者や障害者を積極的に雇用



高齢者や障害のある方を積極的に雇用しています。現在処理工場内では荷物の仕分け・分別など幅広い年齢の方々が活躍しています。

60才以上 21名
障がい者 3名
令和5年3月現在雇用実績



いつも休憩時間になると元気な声が聞こえ、こちらがパワーを貰っています。雰囲気の良い職場です。弊社ではグループお食事会を定期的に行っており、年齢関係なくお食事会を楽しんでいます。



■社内勉強会



弊社では月に1回、社員教育の一環として社内勉強会を開催しています。又、部署ごとに月に1度課内ミーティングや座談会を開き社員同士のコミュニケーションを積極的に行っています。

